

担い手確保・経営強化支援事業目標達成状況報告書(1年度目)

都道府県名	市町村名	地区名	計画承認年度	目標年度	事業実施主体
北海道	美瑛町	置札牛	令和元年度	令和3年度	美瑛町

I 地区の成果目標

(単位:経営体、%)

項目	目標 達成状況(上段:計画、下段:実績)			1年度目 達成状況 (%)
	1年度目	2年度目	目標年度 (3年度目)	
目 標 須 付加価値額の拡大	0 0	1	1	-
選 択 目 標	① 経営面積の拡大	0 0	1	-
	② 農産物の価値向上			
	③ 農業経営の複合化			
	④ 農業経営の法人化			
	⑤ 輸出の取組	0 0	0	1

II 経営体の成果目標

No	対象経営体名	項目	現状	目標 達成状況(上段:計画、下段:実績)			1年度目 達成状況 (%)	実績を確 認した資料 名等	
				1年度目	2年度目	目標年度 (3年度目)			
1		付加価値額の拡大(円)	9,587,960	9,587,960 13,666,676	12,784,586	12,784,586		決算報告書	
		算定 内訳	収入総額	36,527,929	36,527,929 38,229,195	48,706,341	48,706,341		
			費用総額	27,219,969	27,219,969 25,308,519	362,958,107	362,958,107		
			人件費	280,000	280,000 746,000	373,352	373,352		
		就業者一人当たり 付加価値額の拡大	4,168,678	4,168,678 8,446,380	5,558,516	5,558,516	-		
		就業者数	2.3	2.3 2.3	2.3	2.3			
		経営面積の拡大(ha)	37.10	37.10 42.41	41.10	41.10	-	農地台帳	
		輸出の取組	なし	なし なし	なし	そば(100kg)	-	出荷伝票	
		補正の内容							

III 達成状況に関する事業実施主体の所見(評価)

令和元年度末に事業を実施したため、1年度目は成果目標を設定していない。  
 成果目標の達成に向け、引き続き関係機関・団体と連携し、目標達成に向け助言・指導を行う。

1 人・農地プランの作成状況

(1)作成した日 年 月 日

(2)今後の見通し(未作成の場合)

2 法人化の状況

(1)法人化前の組織等の名称: \_\_\_\_\_

(2)法人化した日 年 月 日

(3)今後の見通し(法人化していない場合)

〔記入要領〕

- 1 「現状」「目標」欄は、担い手支援計画及び経営体調書の成果目標の「現状」「目標年度」欄の内容を記入する。
  - I 及びIIの「達成状況」欄の上段は、担い手支援計画及び経営体調書にある計画を記入し、下段は、当該年度の実績を記載し、「〇年度目の達成状況(%)」欄はその年度の計画に対する達成状況を記入する。
- 2 IIの対象経営体の成果目標に関する達成状況は、担い手支援計画の添付資料である経営体調書に掲げた経営体の成果目標の項目について、対象経営体毎に記入する。また、付加価値額の拡大(算定内訳を含む。)及び就業者一人当たり付加価値額の拡大について、実績を補正したものについては、実績値の前に(補)と記載する。「項目」欄の「補正の内容」欄には、実績を補正したものについて、補正の要因及び補正の方法(実績値の補正過程)を記載する。なお、記入欄は対象経営体数等に応じて適宜挿入すること。  
IIの経営体の成果目標達成状況の達成率は、(実績-現状)/(年度計画-現状)×100により求めるものとする(小数第2位は切り捨て、小数第1位まで記入する。)
- 3 IIIの「達成状況に関する事業実施主体の所見(評価)」欄は、成果目標の達成状況を勘案して記入するものとし、達成に立ち遅れがある場合には、その要因を把握した上で達成に向けた具体的な取り組み内容を記入すること。  
また、目標年度において目標が達成されていない場合(必須目標が達成されていない場合又は選択目標がおおむね達成されていない場合)は、別途、別紙様式5号により経営体ごとに未達成となった理由を整理し、目標達成に向けた具体的な改善措置及び達成見込時期等を記入するとともに、地域への影響等と構造政策を進めるための今後の取組方向を記入する。
- 4 IVの1については、事業実施時点で人・農地プランを作成していない地区である場合(実施要綱別記第1の2の(4)に該当する地区である場合)に記載し、2については、助成対象者が集落営農組織である場合(別記4の(1)のイの(ア)のcに該当する場合)に記載する。

## 担い手確保・経営強化支援事業目標達成状況報告書(1年度目)

都道府県名	市町村名	地区名	計画承認年度	目標年度	事業実施主体
北海道	美瑛町	北瑛	令和元年度	令和3年度	美瑛町

## I 地区の成果目標

(単位:経営体、%)

項目	目標 達成状況(上段:計画、下段:実績)			1年度目 達成状況 (%)
	1年度目	2年度目	目標年度 (3年度目)	
目 標 須 付加価値額の拡大	0 0	1	1	-
選 択 目 標	① 経営面積の拡大	0 0	1	-
	② 農産物の価値向上			
	③ 農業経営の複合化			
	④ 農業経営の法人化			
	⑤ 輸出の取組			

## II 経営体の成果目標

No	対象経営体名	項目	現状	目標 達成状況(上段:計画、下段:実績)			1年度目 達成状況 (%)	実績を確認した資料 名等	
				1年度目	2年度目	目標年度 (3年度目)			
1		付加価値額の拡大(円)	48,084,070	48,084,070 48,084,070	57,700,884	57,700,884	-	決算報告書	
		算定 内訳	収入総額	342,438,723	342,438,723 279,591,053	410,926,468	410,926,468		
			費用総額	342,438,723	342,438,723 279,591,053	410,926,468	410,926,468		
			人件費	48,084,070	48,084,070 48,084,070	57,700,884	57,700,884		
		就業者一人当たり 付加価値額の拡大							
		就業者数							
		経営面積の拡大(ha)	240.70	240.70 236.41	244.70	244.70	-	農地台帳	
補正の内容									

## III 達成状況に関する事業実施主体の所見(評価)

令和元年度末に事業を実施したため、1年度目は成果目標を設定していない。  
成果目標の達成に向け、引き続き関係機関・団体と連携し、目標達成に向け助言・指導を行う。

## 1 人・農地プランの作成状況

(1)作成した日 年 月 日

(2)今後の見通し(未作成の場合)

## 2 法人化の状況

(1)法人化前の組織等の名称: \_\_\_\_\_

(2)法人化した日 年 月 日

(3)今後の見通し(法人化していない場合)

〔記入要領〕

- 1 「現状」「目標」欄は、担い手支援計画及び経営体調書の成果目標の「現状」「目標年度」欄の内容を記入する。
  - I 及びIIの「達成状況」欄の上段は、担い手支援計画及び経営体調書にある計画を記入し、下段は、当該年度の実績を記載し、「〇年度目の達成状況(%)」欄はその年度の計画に対する達成状況を記入する。
- 2 IIの対象経営体の成果目標に関する達成状況は、担い手支援計画の添付資料である経営体調書に掲げた経営体の成果目標の項目について、対象経営体毎に記入する。また、付加価値額の拡大(算定内訳を含む。)及び就業者一人当たり付加価値額の拡大について、実績を補正したものについては、実績値の前に(補)と記載する。「項目」欄の「補正の内容」欄には、実績を補正したものについて、補正の要因及び補正の方法(実績値の補正過程)を記載する。なお、記入欄は対象経営体数等に応じて適宜挿入すること。
  - IIの経営体の成果目標達成状況の達成率は、(実績-現状)/(年度計画-現状)×100により求めるものとする(小数第2位は切り捨て、小数第1位まで記入する。)
- 3 IIIの「達成状況に関する事業実施主体の所見(評価)」欄は、成果目標の達成状況を勘案して記入するものとし、達成に立ち遅れがある場合には、その要因を把握した上で達成に向けた具体的な取り組み内容を記入すること。
  - また、目標年度において目標が達成されていない場合(必須目標が達成されていない場合又は選択目標がおおむね達成されていない場合)は、別途、別紙様式5号により経営体ごとに未達成となった理由を整理し、目標達成に向けた具体的な改善措置及び達成見込時期等を記入するとともに、地域への影響等と構造政策を進めるための今後の取組方向を記入する。
- 4 IVの1については、事業実施時点で人・農地プランを作成していない地区である場合(実施要綱別記第1の2の(4)に該当する地区である場合)に記載し、2については、助成対象者が集落営農組織である場合(別記4の(1)のイの(ア)のcに該当する場合)に記載する。

## 担い手確保・経営強化支援事業目標達成状況報告書(1年度目)

都道府県名	市町村名	地区名	計画承認年度	目標年度	事業実施主体
北海道	美瑛町	大村	令和元年度	令和3年度	美瑛町

## I 地区の成果目標

(単位:経営体、%)

項目	目標 達成状況(上段:計画、下段:実績)			1年度目 達成状況 (%)	
	1年度目	2年度目	目標年度 (3年度目)		
目 標 須 付加価値額の拡大	0 0	1	1	-	
選 択 目 標	① 経営面積の拡大	0 0	1	-	
	② 農産物の価値向上				
	③ 農業経営の複合化				
	④ 農業経営の法人化	0 0	0	1	-
	⑤ 輸出の取組				

## II 経営体の成果目標

No	対象経営体名	項目	現状	目標 達成状況(上段:計画、下段:実績)			1年度目 達成状況 (%)	実績を確認した資料 名等	
				1年度目	2年度目	目標年度 (3年度目)			
1		付加価値額の拡大(円)	20,757,652	20,757,652 41,465,134	29,060,713	29,060,713	-	決算報告書	
		算定 内訳	収入総額	56,593,330	56,593,330 71,574,091	79,230,663	79,230,663		
			費用総額	45,569,584	45,569,584 32,108,591	63,797,418	63,797,418		
			人件費	9,733,906	9,733,906 1,999,634	13,627,468	13,627,468		
		就業者一人当たり 付加価値額の拡大							
		就業者数							
		経営面積の拡大(ha)	12.30	12.30 25.89	16.30	16.30	-	農地台帳	
		農業経営の法人化	個人	個人 個人	個人	法人	-	登記簿	
補正の内容									

## III 達成状況に関する事業実施主体の所見(評価)

令和元年度末に事業を実施したため、1年度目は成果目標を設定していない。  
成果目標の達成に向け、引き続き関係機関・団体と連携し、目標達成に向け助言・指導を行う。

## 1 人・農地プランの作成状況

(1)作成した日 年 月 日

(2)今後の見通し(未作成の場合)

## 2 法人化の状況

(1)法人化前の組織等の名称: \_\_\_\_\_

(2)法人化した日 年 月 日

(3)今後の見通し(法人化していない場合)

〔記入要領〕

- 1 「現状」「目標」欄は、担い手支援計画及び経営体調書の成果目標の「現状」「目標年度」欄の内容を記入する。
  - I 及びIIの「達成状況」欄の上段は、担い手支援計画及び経営体調書にある計画を記入し、下段は、当該年度の実績を記載し、「〇年度目の達成状況(%)」欄はその年度の計画に対する達成状況を記入する。
- 2 IIの対象経営体の成果目標に関する達成状況は、担い手支援計画の添付資料である経営体調書に掲げた経営体の成果目標の項目について、対象経営体毎に記入する。また、付加価値額の拡大(算定内訳を含む。)及び就業者一人当たり付加価値額の拡大について、実績を補正したものについては、実績値の前に(補)と記載する。「項目」欄の「補正の内容」欄には、実績を補正したものについて、補正の要因及び補正の方法(実績値の補正過程)を記載する。なお、記入欄は対象経営体数等に応じて適宜挿入すること。
  - IIの経営体の成果目標達成状況の達成率は、(実績-現状)/(年度計画-現状)×100により求めるものとする(小数第2位は切り捨て、小数第1位まで記入する。)
- 3 IIIの「達成状況に関する事業実施主体の所見(評価)」欄は、成果目標の達成状況を勘案して記入するものとし、達成に立ち遅れがある場合には、その要因を把握した上で達成に向けた具体的な取り組み内容を記入すること。
  - また、目標年度において目標が達成されていない場合(必須目標が達成されていない場合又は選択目標がおおむね達成されていない場合)は、別途、別紙様式5号により経営体ごとに未達成となった理由を整理し、目標達成に向けた具体的な改善措置及び達成見込時期等を記入するとともに、地域への影響等と構造政策を進めるための今後の取組方向を記入する。
- 4 IVの1については、事業実施時点で人・農地プランを作成していない地区である場合(実施要綱別記第1の2の(4)に該当する地区である場合)に記載し、2については、助成対象者が集落営農組織である場合(別記4の(1)のイの(ア)のcに該当する場合)に記載する。

担い手確保・経営強化支援事業目標達成状況報告書(1年度目)

都道府県名	市町村名	地区名	計画承認年度	目標年度	事業実施主体
北海道	美瑛町	五稜	令和元年度	令和3年度	美瑛町

I 地区の成果目標

(単位:経営体、%)

項目	目標 達成状況(上段:計画、下段:実績)			1年度目 達成状況 (%)
	1年度目	2年度目	目標年度 (3年度目)	
目 標 須 付加価値額の拡大	0 0	1	1	-
選 択 目 標	① 経営面積の拡大	0 0	1	-
	② 農産物の価値向上			
	③ 農業経営の複合化			
	④ 農業経営の法人化			
	⑤ 輸出の取組			

II 経営体の成果目標

No	対象経営体名	項目	現状	目標 達成状況(上段:計画、下段:実績)			1年度目 達成状況 (%)	実績を確認した資料 名等	
				1年度目	2年度目	目標年度 (3年度目)			
1		付加価値額の拡大(円)	2,330,532	2,330,532 2,795,209	2,800,135	2,800,135	-	決算報告書	
		算定 内訳	収入総額	7,899,183	7,899,183 8,292,173	9,490,869	9,490,869		
			費用総額	5,568,651	5,568,651 5,496,964	6,690,734	6,690,734		
			人件費						
		就業者一人当たり 付加価値額の拡大							
		就業者数							
		経営面積の拡大(ha)	17.70	17.70 24.24	21.70	21.70	-	農地台帳	
補正の内容									

III 達成状況に関する事業実施主体の所見(評価)

令和元年度末に事業を実施したため、1年度目は成果目標を設定していない。  
 成果目標の達成に向け、引き続き関係機関・団体と連携し、目標達成に向け助言・指導を行う。

1 人・農地プランの作成状況

(1) 作成した日 年 月 日

(2) 今後の見通し(未作成の場合)

(1) 法人化前の組織等の名称:

(2) 法人化した日 年 月 日

(3) 今後の見通し(法人化していない場合)

〔記入要領〕

- 1 「現状」「目標」欄は、担い手支援計画及び経営体調書の成果目標の「現状」「目標年度」欄の内容を記入する。
  - I 及びIIの「達成状況」欄の上段は、担い手支援計画及び経営体調書にある計画を記入し、下段は、当該年度の実績を記載し、「〇年度目の達成状況(%)」欄はその年度の計画に対する達成状況を記入する。
- 2 IIの対象経営体の成果目標に関する達成状況は、担い手支援計画の添付資料である経営体調書に掲げた経営体の成果目標の項目について、対象経営体毎に記入する。また、付加価値額の拡大(算定内訳を含む。)及び就業者一人当たり付加価値額の拡大について、実績を補正したものについては、実績値の前に(補)と記載する。「項目」欄の「補正の内容」欄には、実績を補正したものについて、補正の要因及び補正の方法(実績値の補正過程)を記載する。なお、記入欄は対象経営体数等に応じて適宜挿入すること。
  - IIの経営体の成果目標達成状況の達成率は、(実績-現状)/(年度計画-現状)×100により求めるものとする(小数第2位は切り捨て、小数第1位まで記入する。)
- 3 IIIの「達成状況に関する事業実施主体の所見(評価)」欄は、成果目標の達成状況を勘案して記入するものとし、達成に立ち遅れがある場合には、その要因を把握した上で達成に向けた具体的な取り組み内容を記入すること。
  - また、目標年度において目標が達成されていない場合(必須目標が達成されていない場合又は選択目標がおおむね達成されていない場合)は、別途、別紙様式5号により経営体ごとに未達成となった理由を整理し、目標達成に向けた具体的な改善措置及び達成見込時期等を記入するとともに、地域への影響等と構造政策を進めるための今後の取組方向を記入する。
- 4 IVの1については、事業実施時点で人・農地プランを作成していない地区である場合(実施要綱別記第1の2の(4)に該当する地区である場合)に記載し、2については、助成対象者が集落営農組織である場合(別記4の(1)のイの(ア)のcに該当する場合)に記載する。



担い手確保・経営強化支援事業目標達成状況報告書(1年度目)

都道府県名	市町村名	地区名	計画承認年度	目標年度	事業実施主体
北海道	美瑛町	福富三愛	令和元年度	令和3年度	美瑛町

I 地区の成果目標

(単位:経営体、%)

項目	目標 達成状況(上段:計画、下段:実績)			1年度目 達成状況 (%)
	1年度目	2年度目	目標年度 (3年度目)	
目 標 須 付加価値額の拡大	0 0	2	2	-
選 択 目 標	① 経営面積の拡大	0 0	2	-
	② 農産物の価値向上			
	③ 農業経営の複合化			
	④ 農業経営の法人化			
	⑤ 輸出の取組			

II 経営体の成果目標

No	対象経営体名	項目	現状	目標 達成状況(上段:計画、下段:実績)			1年度目 達成状況 (%)	実績を確 認した資料 名等	
				1年度目	2年度目	目標年度 (3年度目)			
1		付加価値額の拡大	18,036,337	18,036,337 26,614,205	25,250,872	25,250,872	-	決算報告書	
		算定 内訳	収入総額	62,048,195	62,048,195 70,614,440	86,867,473	86,867,473		
			費用総額	45,122,308	45,122,308 45,692,925	63,171,231	63,171,231		
			人件費	1,110,450	1,110,450 1,692,690	1,554,630	1,554,630		
		就業者一人当たり 付加価値額の拡大							
		就業者数							
		経営面積の拡大(ha)	66.50	66.50 66.59	70.50	70.50	-	農地台帳	
補正の内容									
2		付加価値額の拡大	162,281,980	162,281,980 142,361,668	183,378,638	183,378,638	-	決算報告書	
		算定 内訳	収入総額	942,422,691	942,422,691 938,765,642	1,064,937,642	1,064,937,642		
			費用総額	884,970,983	884,970,983 898,984,900	1,000,017,211	1,000,017,211		
			人件費	104,830,272	104,830,272 102,580,926	118,458,207	118,458,207		
		就業者一人当たり 付加価値額の拡大							
		就業者数							
		経営面積の拡大(頭)	2,829	2,829 2,741	2,869	2,869	-	農地台帳	
補正の内容									

### Ⅲ 達成状況に関する事業実施主体の所見(評価)

令和元年度末に事業を実施したため、1年度目は成果目標を設定していない。  
成果目標の達成に向け、引き続き関係機関・団体と連携し、目標達成に向け助言・指導を行う。

#### 1 人・農地プランの作成状況

- (1) 作成した日 \_\_\_\_年 \_\_\_\_月 \_\_\_\_日  
(2) 今後の見通し(未作成の場合)

#### 2 法人化の状況

- (1) 法人化前の組織等の名称: \_\_\_\_\_  
(2) 法人化した日 \_\_\_\_年 \_\_\_\_月 \_\_\_\_日  
(3) 今後の見通し(法人化していない場合)

#### [記入要領]

- 「現状」「目標」欄は、担い手支援計画及び経営体調書の成果目標の「現状」「目標年度」欄の内容を記入する。  
Ⅰ及びⅡの「達成状況」欄の上段は、担い手支援計画及び経営体調書にある計画を記入し、下段は、当該年度の実績を記載し、「○年度目の達成状況(%)」欄はその年度の計画に対する達成状況を記入する。
- Ⅱの対象経営体の成果目標に関する達成状況は、担い手支援計画の添付資料である経営体調書に掲げた経営体の成果目標の項目について、対象経営体毎に記入する。また、付加価値額の拡大(算定内訳を含む。)及び就業者一人当たり付加価値額の拡大について、実績を補正したものについては、実績値の前に(補)と記載する。「項目」欄の「補正の内容」欄には、実績を補正したものについて、補正の要因及び補正の方法(実績値の補正過程)を記載する。なお、記入欄は対象経営体数等に応じて適宜挿入すること。  
Ⅱの経営体の成果目標達成状況の達成率は、(実績-現状)/(年度計画-現状)×100により求めるものとする(小数第2位は切り捨て、小数第1位まで記入する。)
- Ⅲの「達成状況に関する事業実施主体の所見(評価)」欄は、成果目標の達成状況を勘案して記入するものとし、達成に立ち遅れがある場合には、その要因を把握した上で達成に向けた具体的な取り組み内容を記入すること。  
また、目標年度において目標が達成されていない場合(必須目標が達成されていない場合又は選択目標がおおむね達成されていない場合)は、別途、別紙様式5号により経営体ごとに未達成となった理由を整理し、目標達成に向けた具体的な改善措置及び達成見込時期等を記入するとともに、地域への影響等と構造政策を進めるための今後の取組方向を記入する。
- Ⅳの1については、事業実施時点で人・農地プランを作成していない地区である場合(実施要綱別記第1の2の(4)に該当する地区である場合)に記載し、2については、助成対象者が集落営農組織である場合(別記4の(1)のイの(ア)のcに該当する場合)に記載する。

## 担い手確保・経営強化支援事業目標達成状況報告書(1年度目)

都道府県名	市町村名	地区名	計画承認年度	目標年度	事業実施主体
北海道	美瑛町	旭	令和元年度	令和3年度	美瑛町

## I 地区の成果目標

(単位:経営体、%)

項目	目標 達成状況(上段:計画、下段:実績)			1年度目 達成状況 (%)
	1年度目	2年度目	目標年度 (3年度目)	
目 標 須 付加価値額の拡大	0 0	1	1	-
選 択 目 標	① 経営面積の拡大	0 0	1	-
	② 農産物の価値向上			
	③ 農業経営の複合化			
	④ 農業経営の法人化			
	⑤ 輸出の取組			

## II 経営体の成果目標

No	対象経営体名	項目	現状	目標 達成状況(上段:計画、下段:実績)			1年度目 達成状況 (%)	実績を確認した資料 名等	
				1年度目	2年度目	目標年度 (3年度目)			
1		付加価値額の拡大	10,816,868	10,816,868 7,447,085	14,061,929	14,061,929	-	決算報告書	
		算定 内訳	収入総額	46,653,088	46,653,088 52,517,822	60,649,015	60,649,015		
			費用総額	38,255,270	38,255,270 51,490,737	49,731,851	49,731,851		
			人件費	2,419,050	2,419,050 6,420,000	3,144,765	3,144,765		
		就業者一人当たり 付加価値額の拡大							
		就業者数							
		経営面積の拡大(ha)	25.60	25.60 25.73	29.60	29.60	-	農地台帳	
補正の内容									

## III 達成状況に関する事業実施主体の所見(評価)

令和元年度末に事業を実施したため、1年度目は成果目標を設定していない。  
成果目標の達成に向け、引き続き関係機関・団体と連携し、目標達成に向け助言・指導を行う。

1 人・農地プランの作成状況

(1)作成した日 年 月 日

(2)今後の見通し(未作成の場合)

(1)法人化前の組織等の名称:

(2)法人化した日 年 月 日

(3)今後の見通し(法人化していない場合)

〔記入要領〕

- 1 「現状」「目標」欄は、担い手支援計画及び経営体調書の成果目標の「現状」「目標年度」欄の内容を記入する。
  - I 及びIIの「達成状況」欄の上段は、担い手支援計画及び経営体調書にある計画を記入し、下段は、当該年度の実績を記載し、「〇年度目の達成状況(%)」欄はその年度の計画に対する達成状況を記入する。
- 2 IIの対象経営体の成果目標に関する達成状況は、担い手支援計画の添付資料である経営体調書に掲げた経営体の成果目標の項目について、対象経営体毎に記入する。また、付加価値額の拡大(算定内訳を含む。)及び就業者一人当たり付加価値額の拡大について、実績を補正したものについては、実績値の前に(補)と記載する。「項目」欄の「補正の内容」欄には、実績を補正したものについて、補正の要因及び補正の方法(実績値の補正過程)を記載する。なお、記入欄は対象経営体数等に応じて適宜挿入すること。  
IIの経営体の成果目標達成状況の達成率は、(実績-現状)/(年度計画-現状)×100により求めるものとする(小数第2位は切り捨て、小数第1位まで記入する。)
- 3 IIIの「達成状況に関する事業実施主体の所見(評価)」欄は、成果目標の達成状況を勘案して記入するものとし、達成に立ち遅れがある場合には、その要因を把握した上で達成に向けた具体的な取り組み内容を記入すること。  
また、目標年度において目標が達成されていない場合(必須目標が達成されていない場合又は選択目標がおおむね達成されていない場合)は、別途、別紙様式5号により経営体ごとに未達成となった理由を整理し、目標達成に向けた具体的な改善措置及び達成見込時期等を記入するとともに、地域への影響等と構造政策を進めるための今後の取組方向を記入する。
- 4 IVの1については、事業実施時点で人・農地プランを作成していない地区である場合(実施要綱別記第1の2の(4)に該当する地区である場合)に記載し、2については、助成対象者が集落営農組織である場合(別記4の(1)のイの(ア)のcに該当する場合)に記載する。